



### 町指定有形文化財

#### 銅造地蔵尊半跏像

埴町指定 昭和51年9月21日

所在地 大字埴本町45-2

台座銘に、宝暦三年（1753）4月21日、稲崎五右衛門発心、白坂長右衛門、伊香翠川五郎兵衛その他遠近篤志家の浄財により、宇都宮の戸室将鑑これをつくり、鑄造は佐野の長谷川弥市藤原秀膳とあるので建立由来の明瞭な仏像である。

高さ約2メートル、写真に見る如く、半跏の姿をもって、慈眼を垂れ温容を示す。破損も見られず町内唯一の鑄造仏である。

寛政年間（1790年代）寺西重次郎代官の尊信するところとなり、民風改善の拠り所とし、子育てを奨められたので、子育て地蔵尊と呼ば

れるようになった。現在なお地域住民の敬仰するところ、月の24日祭典が行われている。

最初建立された所は、地蔵院（真言宗小山松本寺）の境内で、明治の廃仏棄釈令により寺は衰微して、仏像は転々と移され、露仏の憂目をみられたが、昭和5年現在の地に、安置され今日に及んでいる。